



かけはし

青の3組
～ダイナミックワールド号～



▶ Central Idea
様々な方法によって
コミュニティ内の問題は解決する

「秋のダイナミックワールド」において、青の3組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

1学期の探究ユニット『いろいろな国』での経験と興味が続いている青の3組の子どもたち。「絶滅危惧の生き物を守りたい」「地球をきれいにしたい」、「世界中の人とお話したい」「世界の人々と仲良くなりたい」という声をきっかけに、いろいろな遊びに発展していきました。また、スポーツデーで経験したコロコロテニピンに子どもたちが考案したルールを加えたゲームや、2学期の探究ユニット『みんなで表現しよう』での経験から、「ビジュアルイメージ」を取り入れた遊びも生まれました。

★ 海の生き物を守ろう！ゴミ釣りゲーム ★

ゴミが捨てられ海が汚れていることを知った子どもたち。「生き物を守ろう！」という声から生まれた遊び。



リサイクルのマークっていろいろあるね！

プラスチック容器や紙パックなどを海中のゴミに見立て、モールをつけたり、新聞紙とモールで釣竿をつくったりしました。

海から回収したゴミは「捨てるのではなく、リサイクルしよう」という声があがり、みんなで使うリサイクルBOXができました。

海で泳ぐ生き物を守るため、ひとつ残らずゴミを釣っていき、ゴミが全てなくなると、かわいらしい生き物たちがあらわれる仕組みに…。

★ ピクトあてゲーム ★

「みんなで表現しよう」で探究したビジュアルイメージやジェスチャーゲームへの興味から生まれた遊び。



このポーズは何をしているところでしょう！

いろいろなビジュアルイメージ(標識やピクトグラム)があることを知り、それを描いたり、体で表現したりしていました。

「体で表せるものがいよいよね！」と、いろいろな体表現を画用紙に描き、オリジナルのピクトグラムカードができました。

一人がカードに描かれたポーズをして、それを見た友達はそのポーズと同じカードを取るというルールで遊んでいます。

★ 世界中の人、聞こえますか？糸電話でつながろう ★

ある子が太さの違う糸を使って糸電話をつくり、家から持ってきてくれたことがきっかけで始まった遊び。



細い糸がよく聞こえるよ！



糸がたるむと聞こえなくなるね



ヨーグルトの容器や紙コップなど身近な素材で糸電話をつくり、どの太さの糸でつくったら、一番よく聞こえるのかを試しました。

糸の長さが違う糸電話をつくり、聞こえ方の違いを試す子どもたち。「離れてもよく聞こえる！」と発見したことを伝え合う姿も。

静かな場所の方が声がよく聞こえるという声から、電話BOXをつくることに。離れたところから楽しそうに会話をしています。

★ 風船テニピン ★

1学期のスポーツデーで経験した「コロコロテニピン」から発展していった遊び。



「本物のテニスのようにボールを打ちたい」という声から、ボールを転がすのではなく、打ち合うことに…試行錯誤していきました。

新聞紙でつくったボールを打ち合うと、すぐに地面に落ちてしまうという問題が…。「風船ならどうか」という声からラリーに挑戦！

風船は、浮く時間が長いという問題発生。「軽いからかも。重くしたら？」との意見から、紙やテープを貼りつけることに。得点ができるようにと得点板もつくりました。

★ コマの世界旅行 ★

先月の修園旅行で拾ったドングリで「コマ」をつくりたいという声から生まれた遊び。



ペンで模様を描いたドングリにつまようじを刺してコマをつくりました。長く回っていたコマが勝ちというルールもできました。

以前みんなでつくった『ペットボトルのキャップコマ』や『折り紙のコマ』など、いろいろなコマ回しをしよう！という意見も…。

世界遺産の写真を見た子が、「コマが世界中を回ったらおもしろいかも！」と言ったことをきっかけに世界旅行をイメージした遊びに。

